

## 第1回新人助産師研修

於：山口県看護研修会館

令和7年8月9日（土）に、新人助産師研修開講式、第1回新人助産師研修が開催されました。今年度の新人助産師は19名、新人助産師研修は6回の開催予定です。

新人助産師情報交換の場で自己紹介を行い、19人の同期としてそれぞれの場で活躍しながら共に学んでいく意気込みなどを語ってくれました。



開講式後には第1回新人助産師研修・公開講座が開催され、木村献氏による「新生児のフィジカルアセスメント」、三木砂織氏による「新生児の看護」についてご講義いただきました。

### 【新生児のフィジカルアセスメント】

講師：木村献氏（山口大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター）



新生児のフィジカルアセスメントについて、家族が気になる所見等、臨床ですぐに活用できる視点も含め、ご講義いただきました。

看護師として赤ちゃんの代弁者としての責任を常に持ちながら、関わることの重要性を学ぶことができました。

### 【新生児の看護】

講師：三木砂織氏（山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師）



「新生児看護」に欠かせない新生児理解を深める内容に加え、新生児とその家族へのケアについて、臨床での体験を踏まえたご講義をしていただきました。

実際にポジショニングの方法を三木先生に実践していただき、貴重な学びを得る機会となりました。

今後も、助産実践能力の向上を図るため様々な研修を計画しております。公開講座へのご参加、お待ちしております。

（山口県看護協会助産師職能委員会）

## 第6回新人助産師研修

於：山口県看護協会会館

令和8年2月7日（土）、第6回新人助産師研修が行われました。新人助産師として最後となるこの研修においては、それぞれの研修生が妊産婦との関わりの中で「心に残った場面」についてリフレクトモデルを使って記載し、「なぜ気になるのか、私の気づきはどんなこと？」と客観的に振り返った結果を発表し、ディスカッションを行いました。

切迫早産で入院している妊婦さんの精神的なケアや緊急帝王切開で出産した産後の母親への声掛けとバースレビュー、授乳支援など助産師として介入する視点がたくさんあり、各自がしっかり向き合ってきたことが分かり、ここ数年で増加している無痛分娩の事例もあり興味深い内容でした。

それぞれの発表に対し山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻准教授 亀崎明子先生から講評をいただきました。発表者個人の気づきやリフレクションによって得られた学びに対する称賛やねぎらい、時にはご自身の経験談も踏まえてのお話に皆が引き込まれました。



閉講式では、研修生代表者がそれぞれの成長と感謝の気持ちを述べられました。先輩からのメッセージを受け取り、1年の成長を感じることができたと思います。今後もさらにスキルを積み重ね成長していかれる事を期待しています。



山口県看護協会 助産師職能委員会